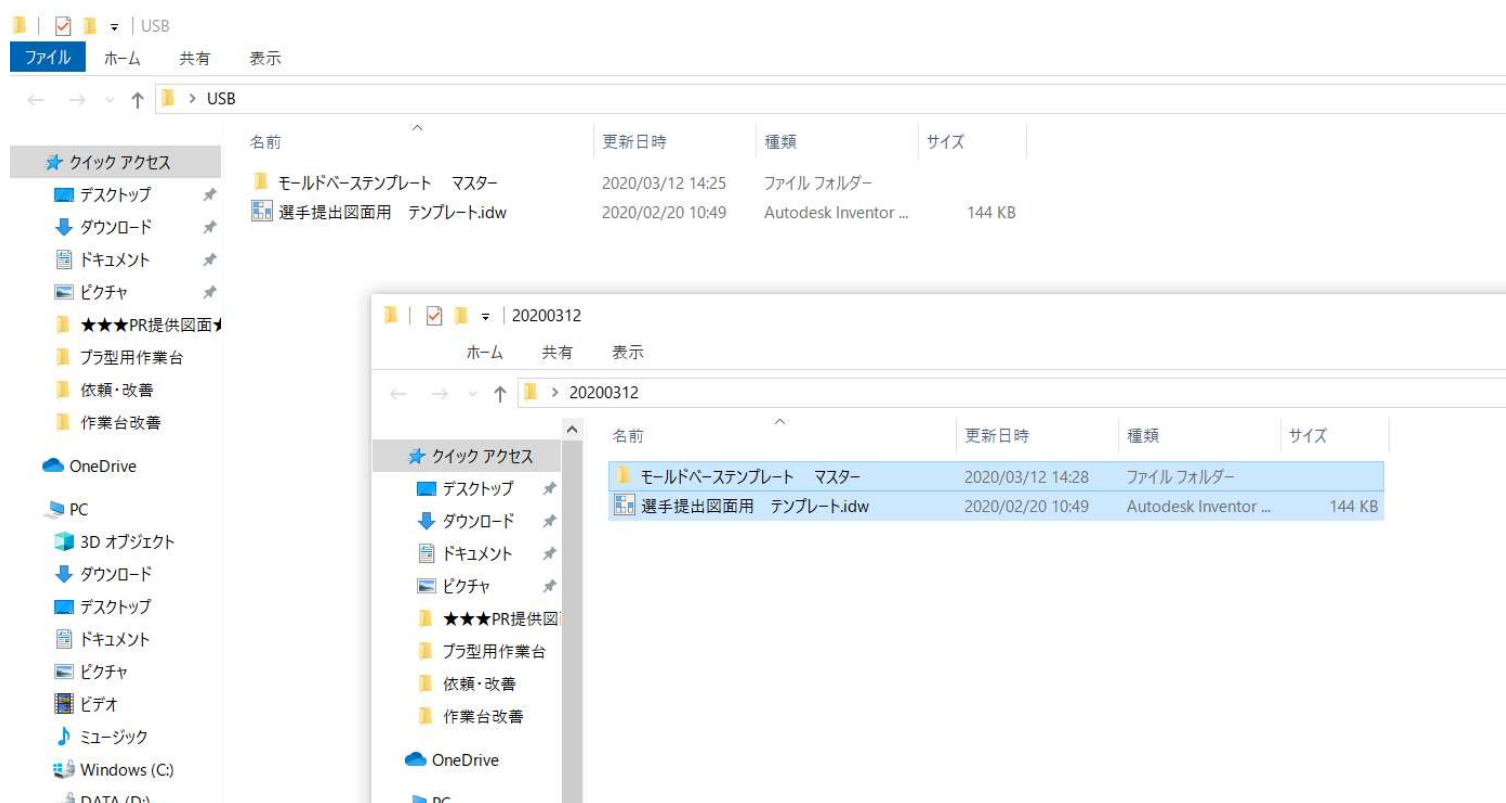


★配布されたUSBから「モールドベーステンプレート」と「選手提出図面用 テンプレート」をコピーする。

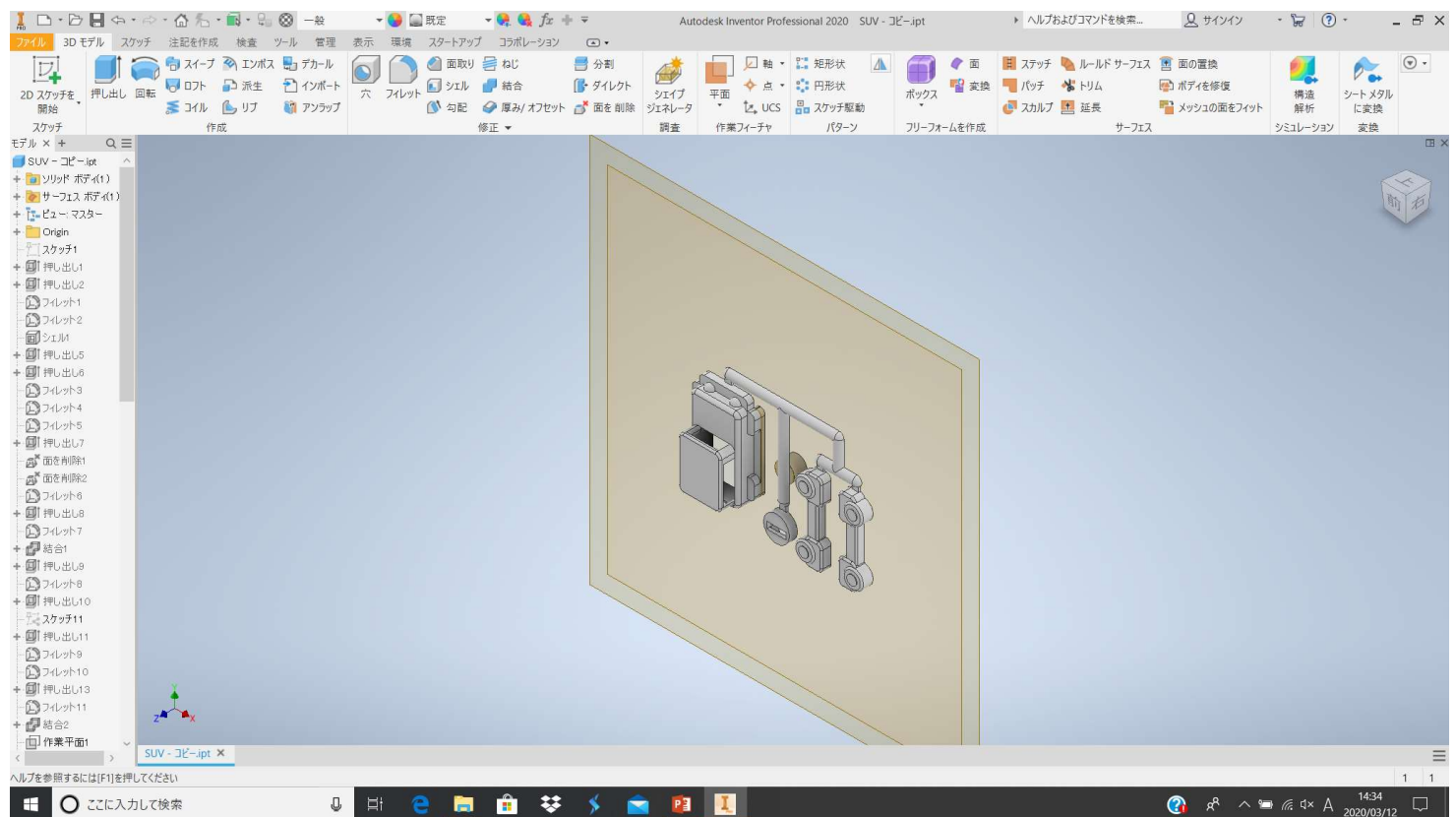


★競技用に作成したフォルダに貼り付ける。

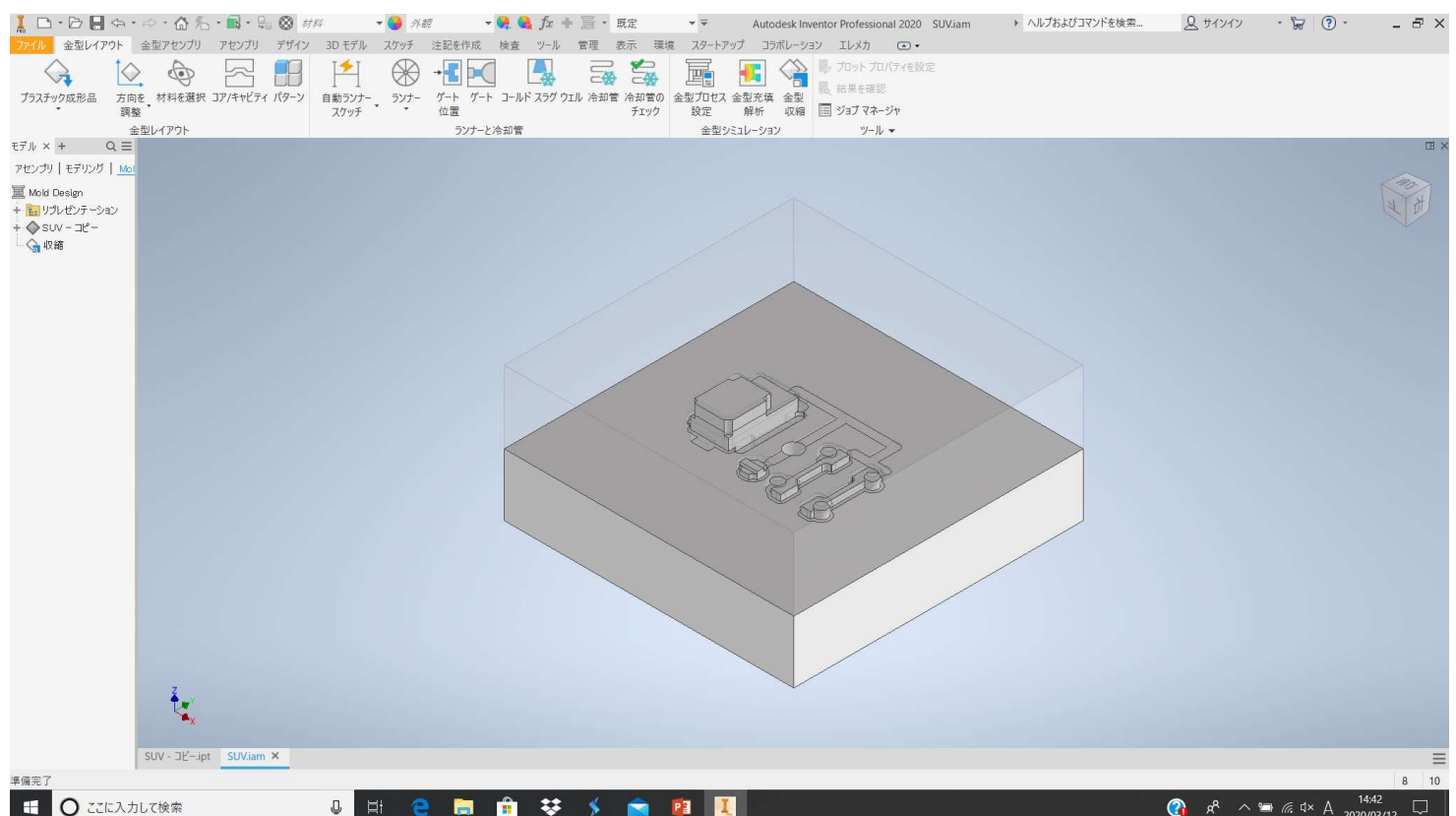
注：この作業をしないとUSB提出時にリンク切れをしてファイルが壊れます。



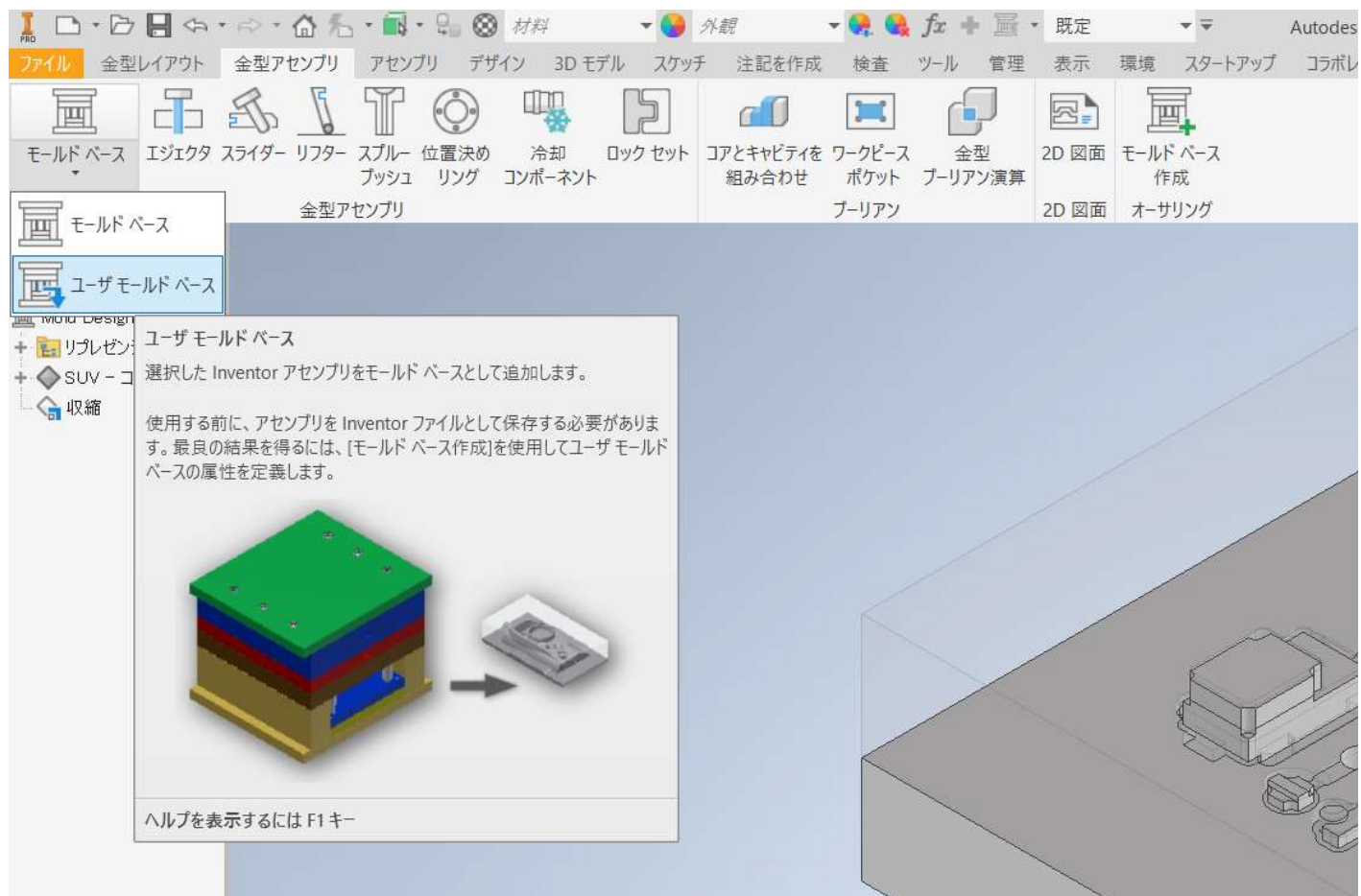
★iptを作る。完成したらMold designのファイルを作る。



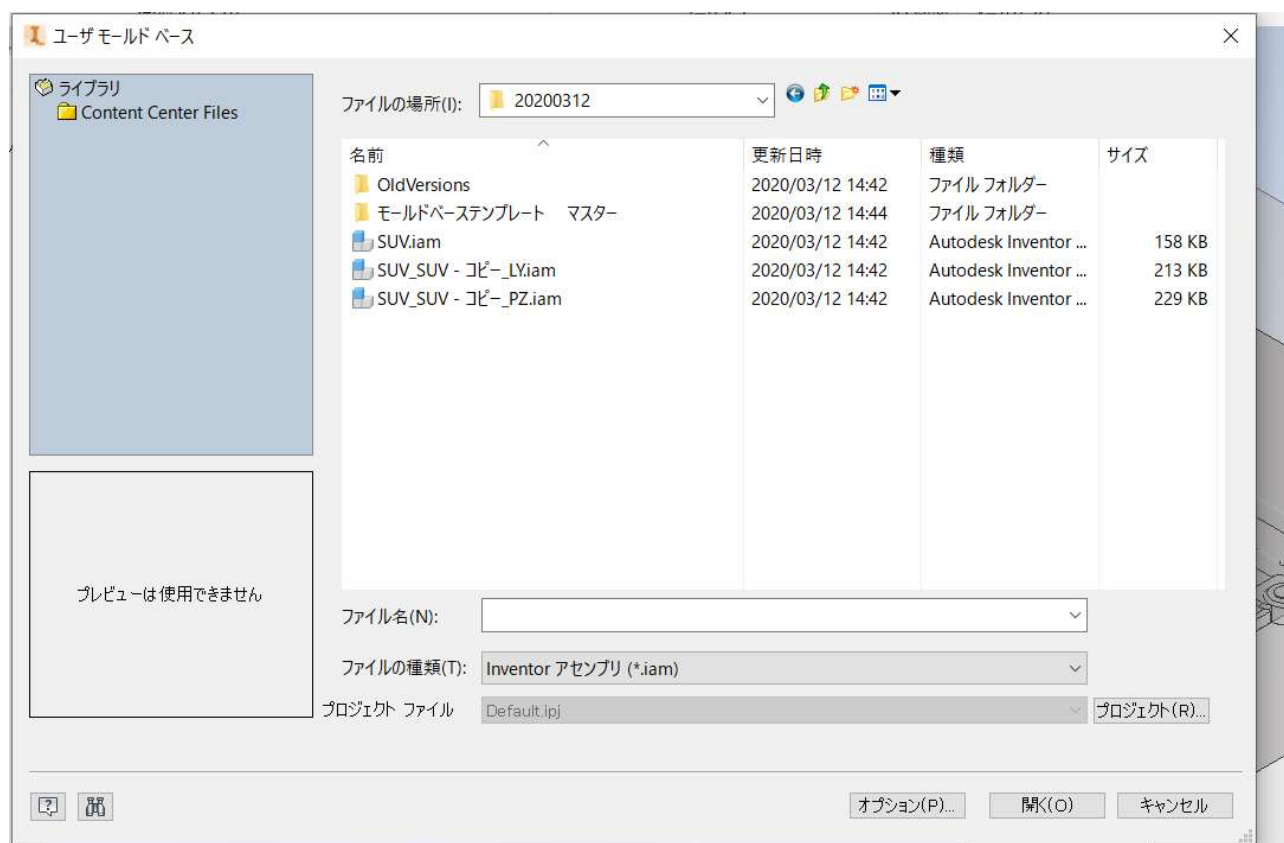
★Mold design の「キャビティとコア」を完了する。



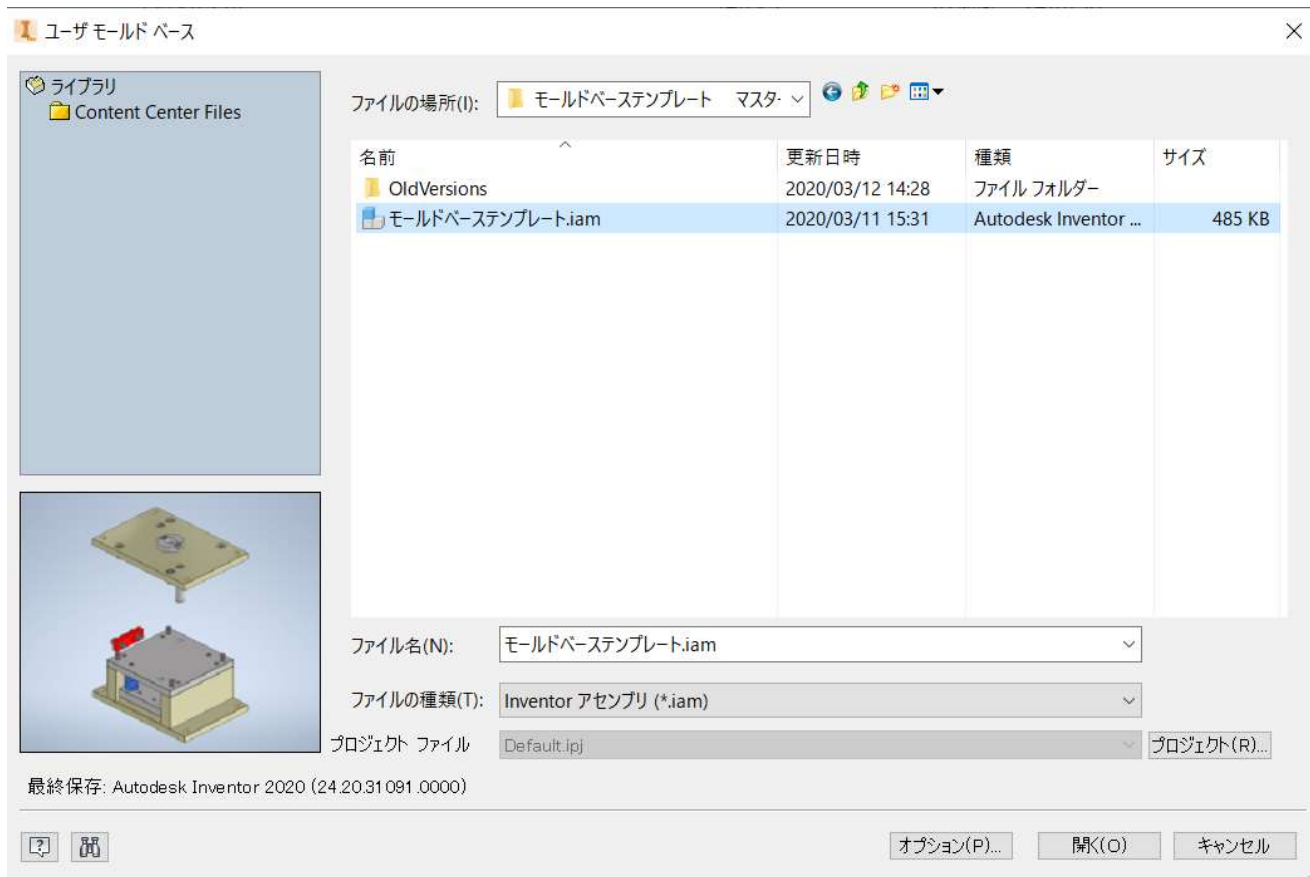
★「ユーザーモールドベース」を選択する。



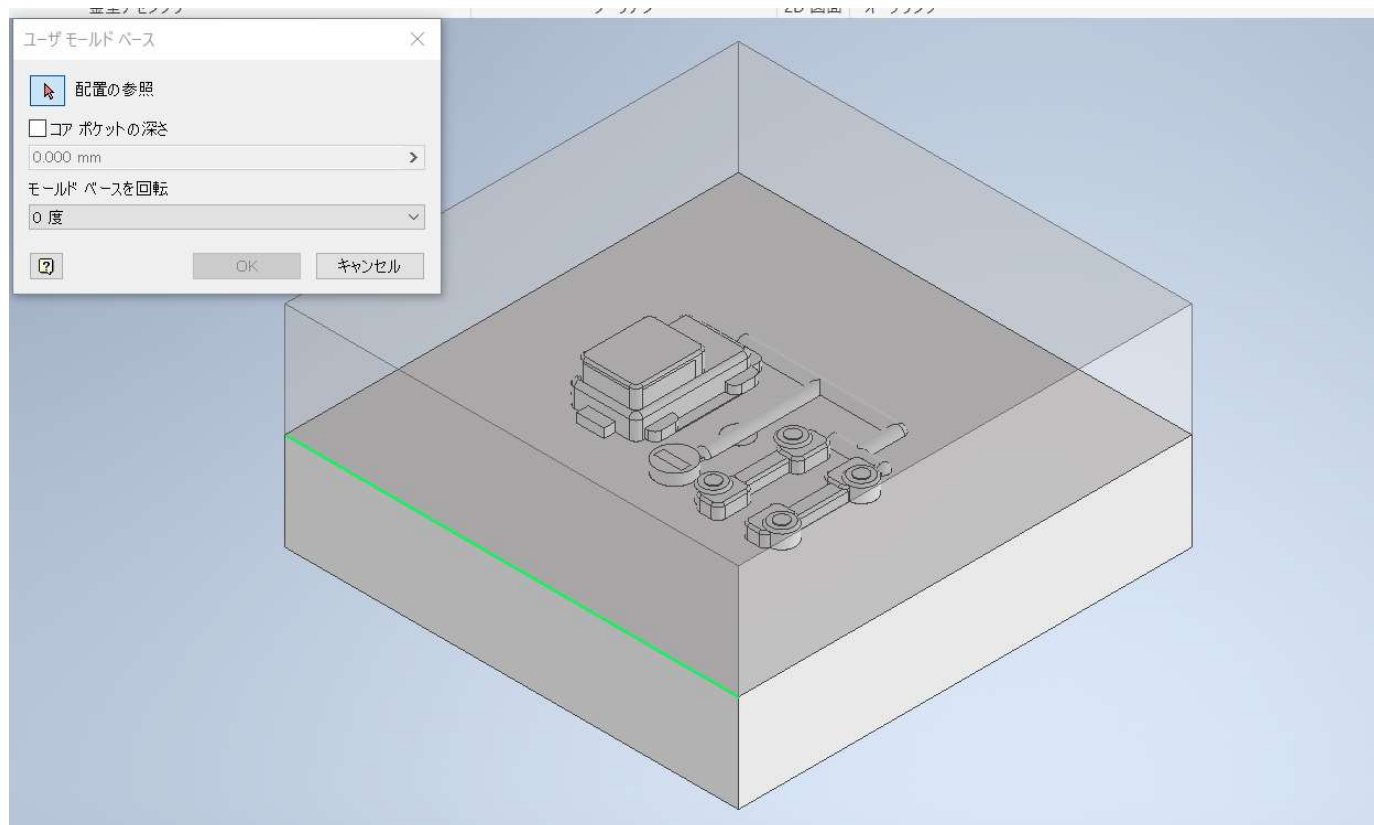
★競技用に作成したフォルダに貼り付けた「モールドベーステンプレート マスター」のフォルダを指定する。



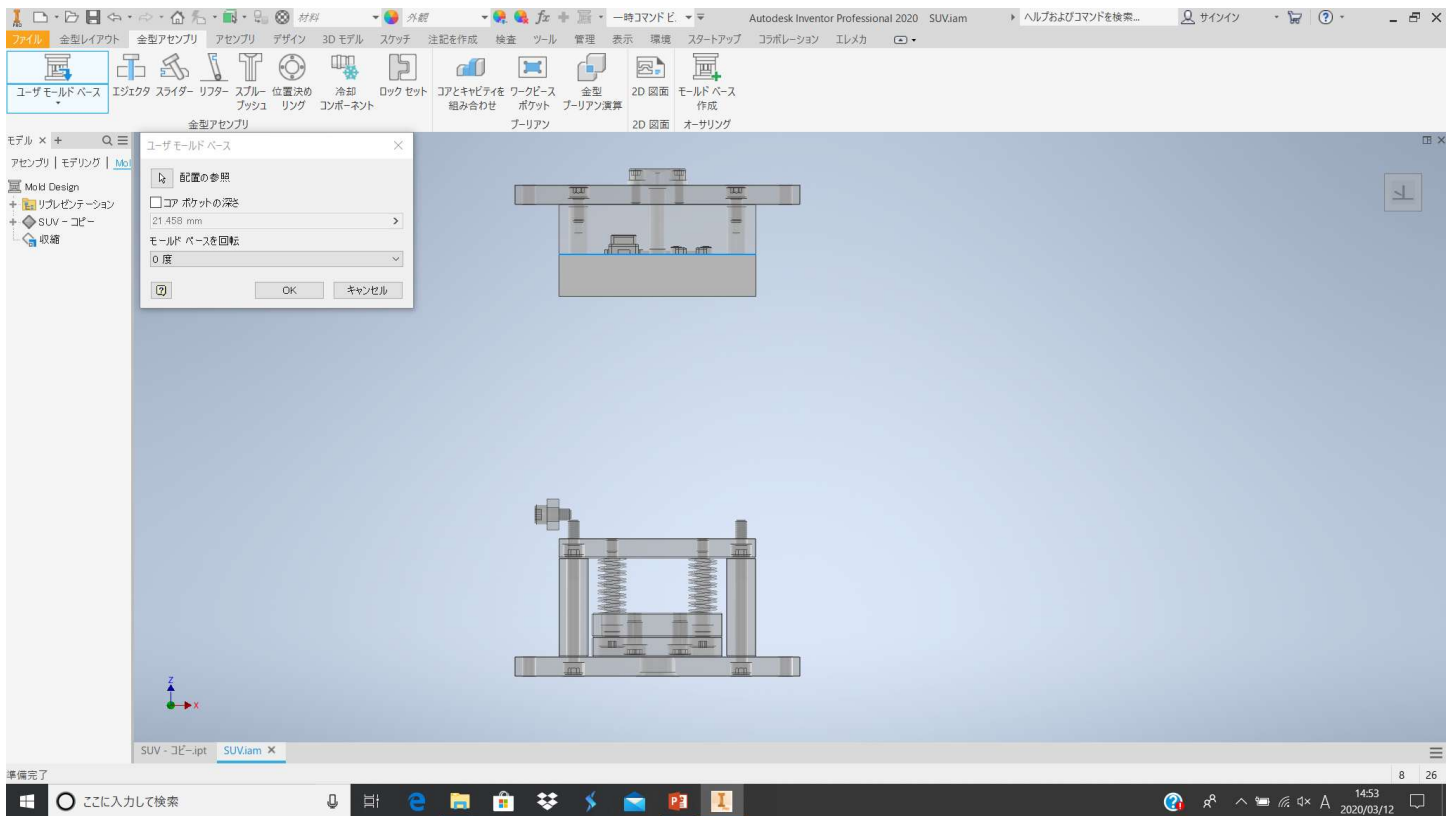
★「モールドベーステンプレート.iam」を指定する。
 注：当日作成した競技用フォルダ内にあるものを指定する。



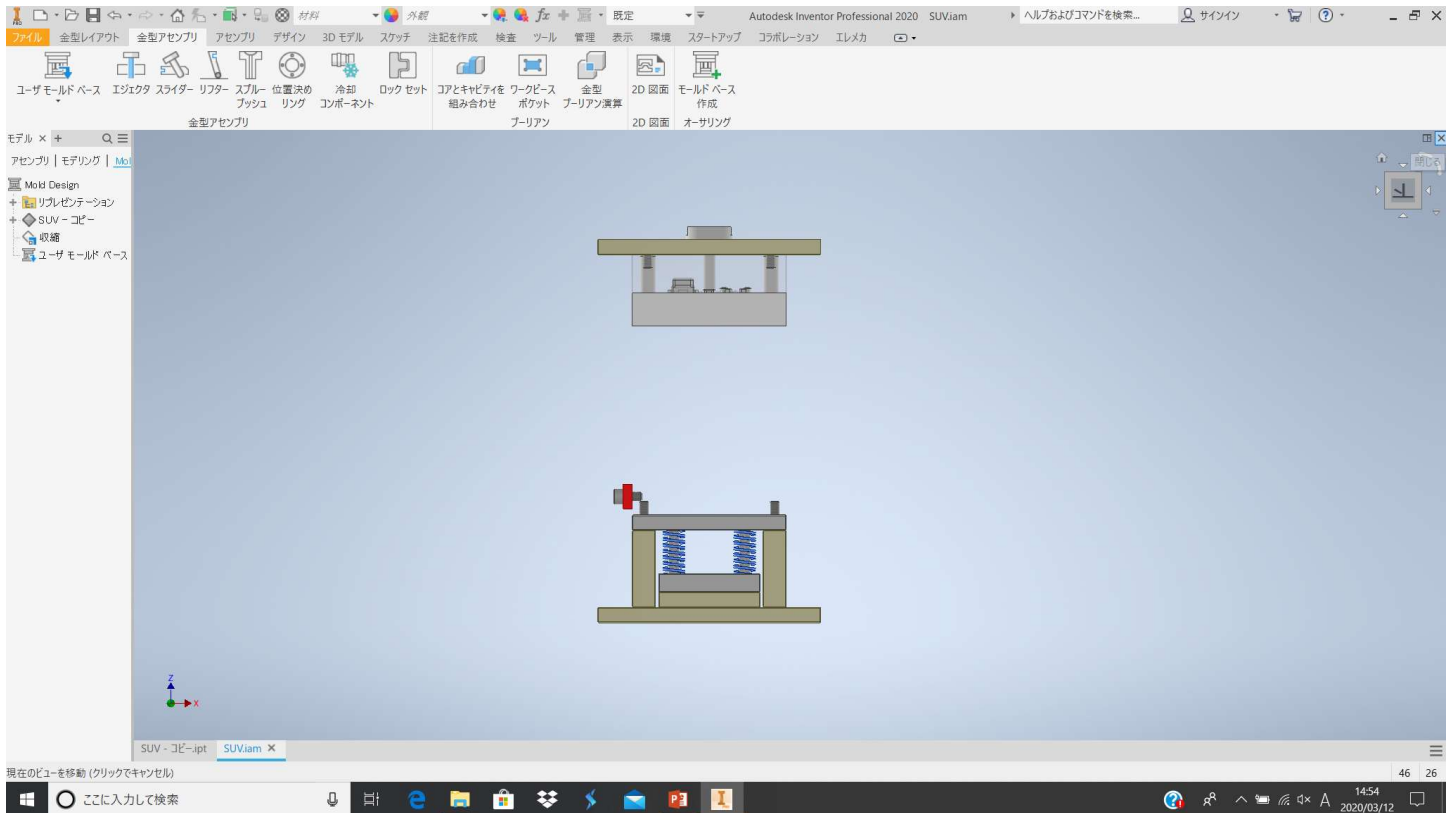
★「配置の参照」はPL面をクリックして指定する。



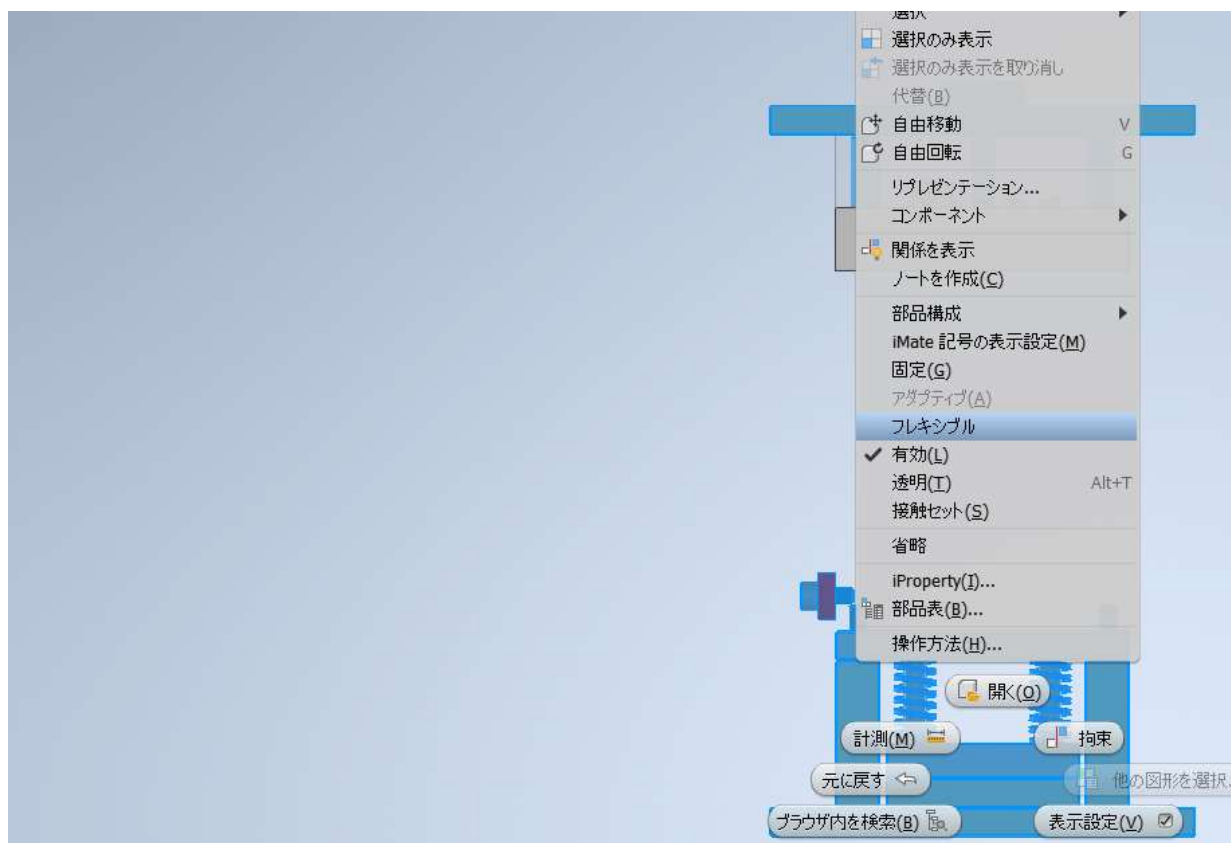
★「コアポケットの深さ」はチェック入れない。



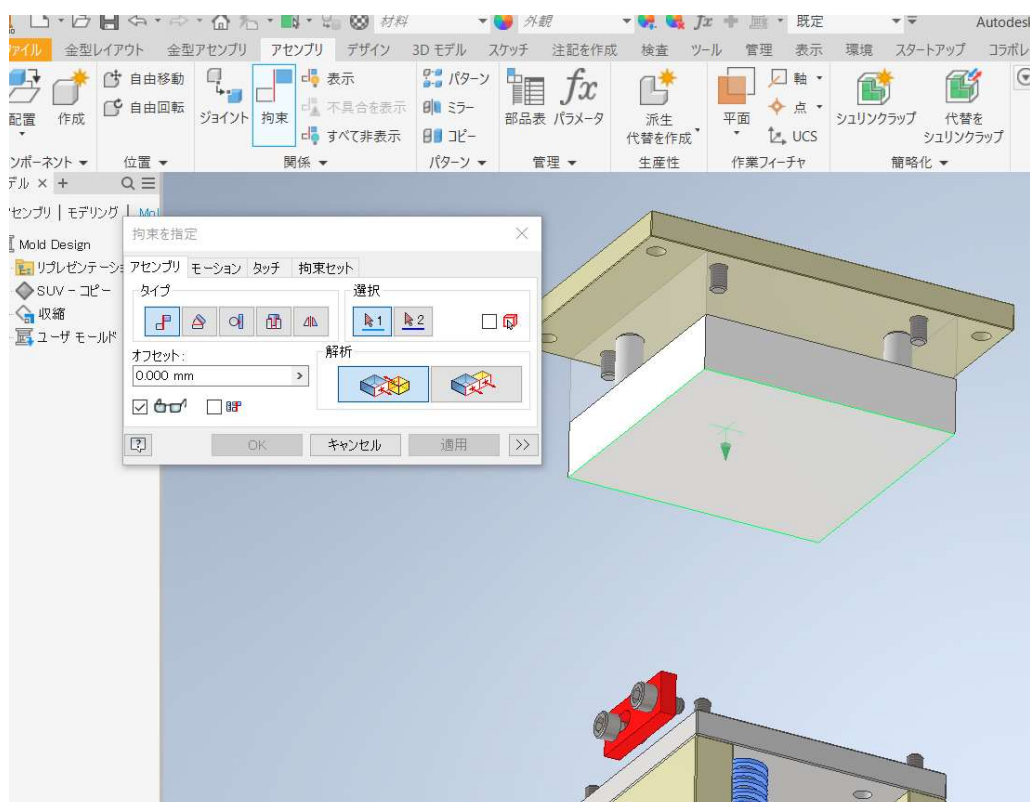
★「OK」すると配置される。



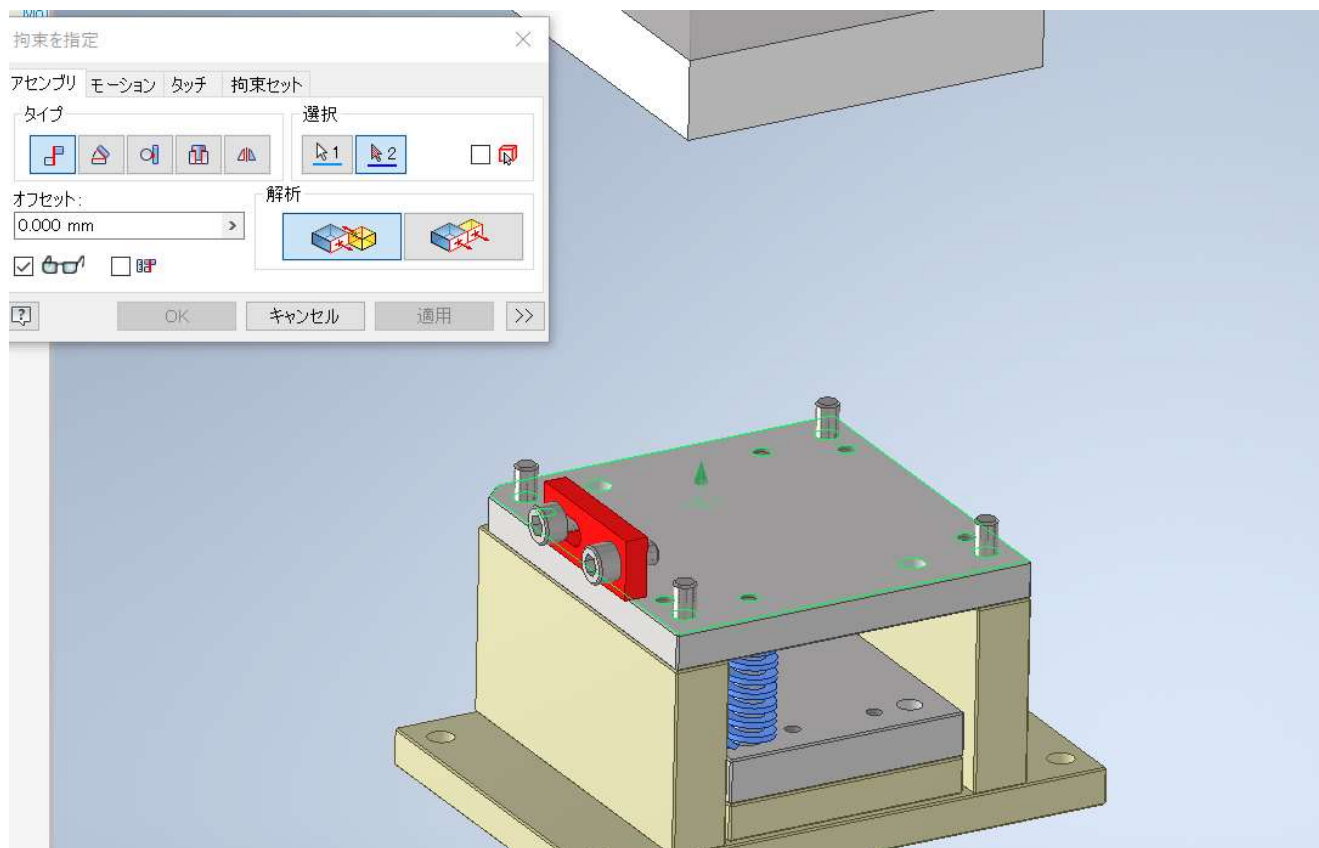
★モールドベースを右クリックして「フレキシブル」にチェックを入れる。



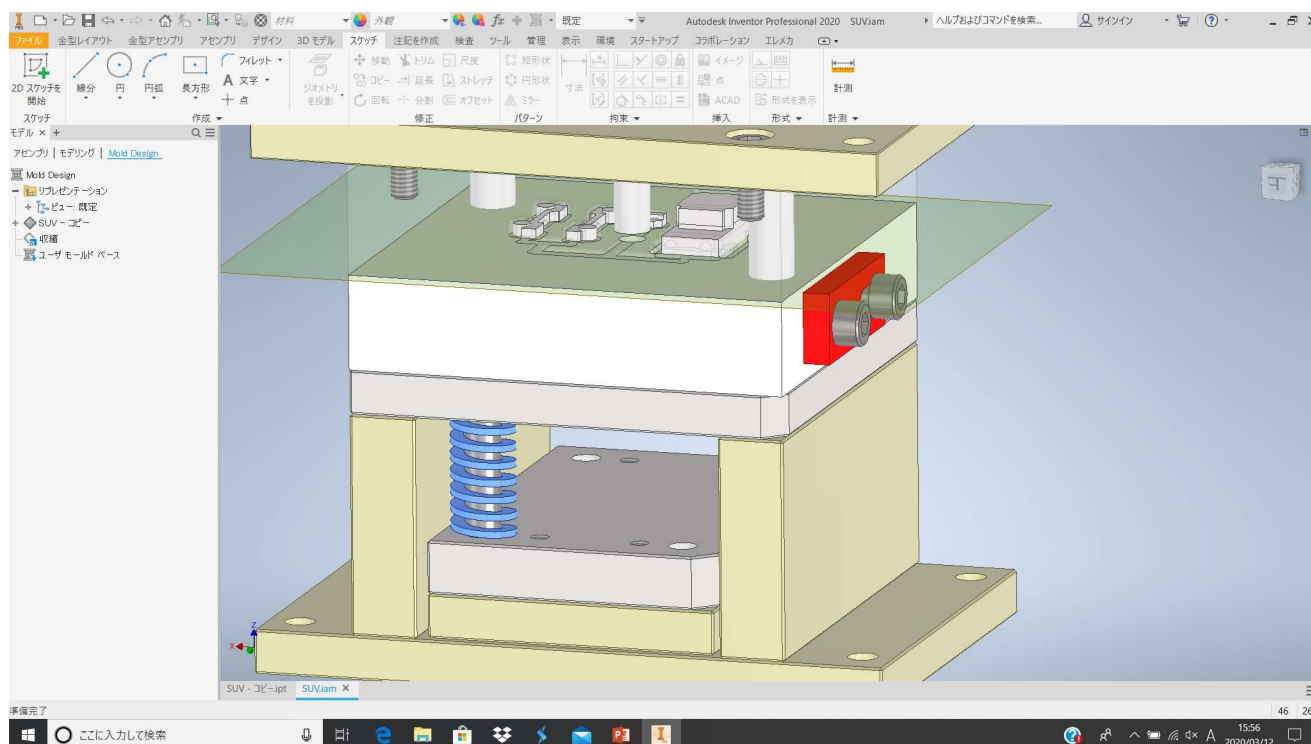
★「アセンブリ」タブの中の「拘束」を使用し、コア底を指定する。



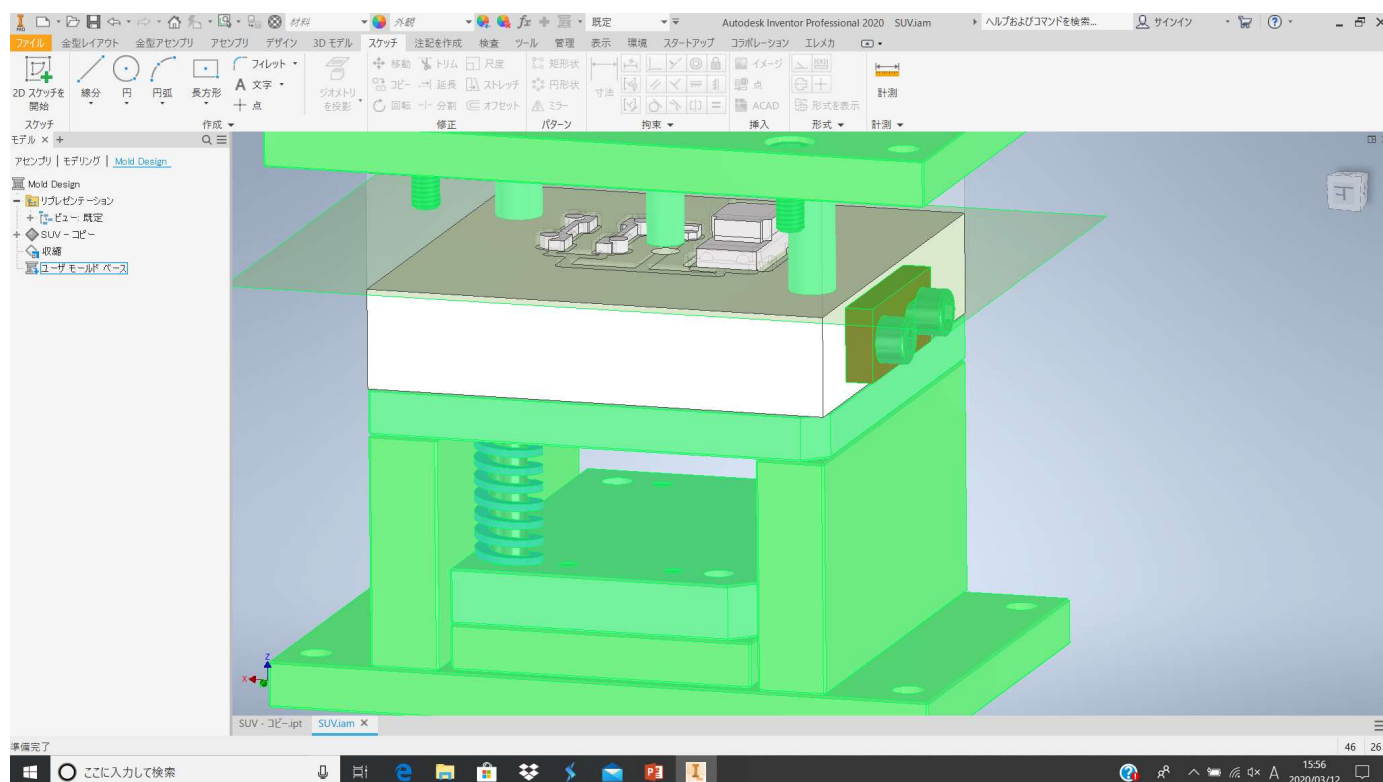
★サポートプレート上面を指定し、「メイト」を「適用」する。



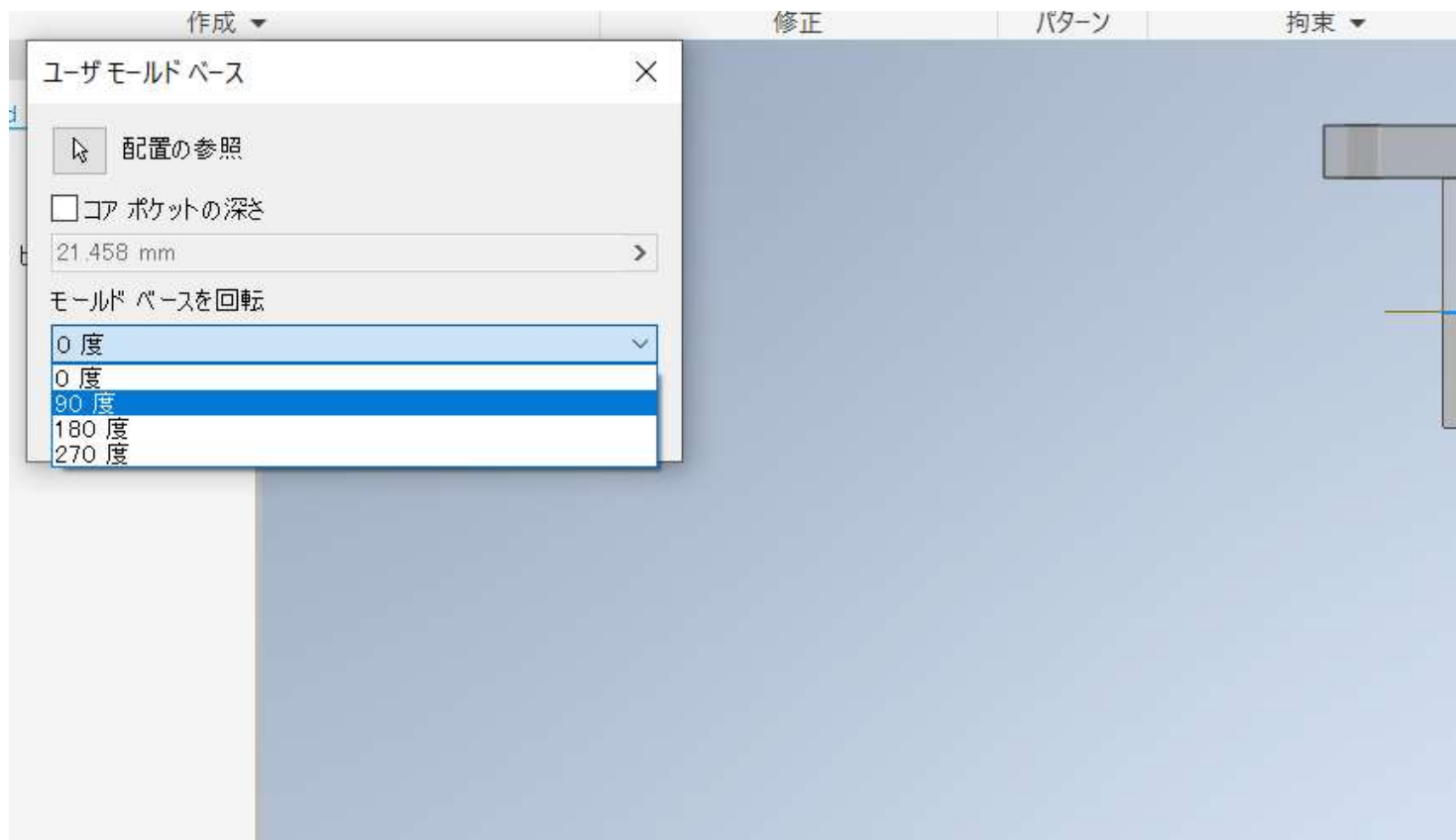
★ERPとSPの面取りの位置と、製品の配置向きがあっているか確認する。



★角度修正したいときはダイアログボックスの「ユーザーモールドベース」を選択してダブルクリックする。



★角度を指定する。



★配置角度を再度確認する。

